

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月24日更新

事務事業名		福祉会館管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	三苫 幸浩
	施策	6	社会福祉の推進			所属課	福祉課	担当者名	小林 弘和
	施策の柱	23	地域福祉の推進			所属班	社会福祉班	(内線)	1155
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 2	事業連番 10431	根拠法令 福祉会館設置条例	成果優先度評価結果	: ①	
							コスト削減優先度評価結果	: ⑥	
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	福祉会館では、社会福祉協議会への委託により、主に旧合志地区の福祉相談支援事業を行うと共に、福祉会館施設利用に伴う受付等も行っており、福祉会館の軽微な修繕や消耗品、来館者のための新聞購入等の予算を計上している。
【業務の流れ】	修繕や消耗品の購入の必要性があった場合に、現場確認、見積もり徴収、事務手続き、支払い業務を行う。
【主な予算費目】	照明安定器等の修繕費、消耗品費
【意見や要望】	旧合志地区の福祉事業において、福祉会館での積極的な事業展開を求められているが、平成29年度は、熊本地震により福祉会館での実施ができていないため、ウィーブルの一日も早い復旧と併せて、福祉業務の再開が求められている。しかし、福祉会館が平成30年度から廃止の向であるため、市全体の福祉の拠点として、ウィーブル内での福祉相談支援業務を展開する予定。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
平成29年度は、熊本地震により、福祉会館は閉鎖となっており、新聞購読料の5月分とカラオケ機器借上料等を支出。(カラオケ機器借上については、一度止めてしまうと再加入には、多額の費用が発生することからそのまま契約を継続。平成30年度からは、社協で引き継ぐこととなる。)		平成30年度からは、福祉会館の廃止に伴い、本事業は廃止となるが、福祉相談支援業務については、地域福祉推進事業の地域福祉支援事業と併せて実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 委託料に関する予算執行事務に要する時間	H	福祉会館廃止に伴う減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		(単位)
		→ ア: 館の利用者数
		イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
創意工夫に富んだ公の施設の管理運営		(単位)
		→ ア: 苦情の件数
		イ: 館の修理金額
		件
		円
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
利用者の利便性、特に高齢者が相談し易い環境を継続することで苦情の減少に努める。また、開館して18年を迎えるので、経年劣化等による改修修繕が今後も発生する。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア	H	20	20	20	20	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	人	17,044	191	15,000	0	0	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ	円	92,340	0	100,000	0	0	0	0	0
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	225	156	232	98			
		(A) 事業費計	千円	225	156	232	98	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	297	0	199	118	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	3	1	3	0	0	0	
	延べ業務時間	時間	80	160	50	30	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	297	0	199	118	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	522	156	431	216	0	0	0	

事務事業名	福祉会館管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 熊本地震により福祉会館は閉鎖となっているため、内容を縮小してふれあい館で行ったため、本来の目的である、合志地域の相談業務としては達成していない。
	②30年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 福祉会館は、平成30年度から廃止の方向である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 福祉会館の平成30年度から廃止に伴い、現福祉会館施設を福祉の拠点として新たに整備する方向であり、そこに福祉相談業務を集約して行うこととしている。そのため、これまでの社協委託の相談業務は継続して行うが、人員を削減して行う。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 福祉会館は、平成30年度から廃止の方向であるため、地域福祉推進事業の安心生活支え愛事業と統合し、人員を減らして実施する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 福祉会館は、平成30年度から廃止の方向であるため、地域福祉推進事業の安心生活支え愛事業と統合し、人員を減らして実施する。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低人数で行っているため職員の削減はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 前市民対象であるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が社会福祉協議会に委託し実施している事業であるため役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

これまで、福祉会館では、主に旧合志地域の福祉相談支援拠点としての機能を果たしてきた。また、施設の貸館としての受付業務も行っており、それに伴う、適正な消耗品の支出ができた。また、築20年を経過する福祉会館の軽微な修繕等も対応できた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)         </p> <p>福祉会館は、平成30年度から廃止の方向である。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						